

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ブルースカイ
住 所	長崎県諫早市福田町357-1
電話番号	0957-35-4880

事業所番号	4210015816
管理者名	高木 美和
対象年度	令和7年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上	○	90 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(Ⅲ) 多様な働き方 (※)			15 <
----------------	--	--	---

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点

(Ⅳ) 支援力向上 (※)		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	○	
小計 (注2)	5	
(※) 8項目の合計点に応じた点数 (注2) 5以上:15点、4~3:5点、2点以下:0点		

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合:-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計
200 点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	45,976	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	6,266	人	利用者の1日の平均労働時間数	7.34	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	40,861,116	円	利用者に支払った賃金総額	39,106,927	円	収支	1,754,189	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	48,167,579	円	利用者に支払った賃金総額	45,748,512	円	収支	2,419,067	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	52,752,529	円	利用者に支払った賃金総額	46,782,870	円	収支	5,969,659	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	☐
------------------------	--------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
--------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	☒
②外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	就労支援セミナー
研修講師	厚生労働省 社会・援護局 佐藤様
実施日・受講者数	R7年3月8日 1人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☐
※研修、学会等名	
実施日	月 日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
※他の事業所名	一般社団法人てとて他
実施日/参加者数	1月 24日 16人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	FOOD STYLE
主催者名	FOOF STYLE Kyushu実行委員会
日時	11月 13日
内容	新商品、効率化のための機器の提案

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	☒
⑥当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	H28年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	12名
うち昇給・昇格を行った者	12名
当該人事評価制度の周知方法	各拠点での説明会

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	☐
⑦当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去2年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	☒
※認証を受けた日	令和3年3月3日
規格等の内容	ながさきHACCP8

(Ⅵ) 経営改善計画

⑨指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ブルースカイ	事業所番号	4210015816
住 所	長崎県諫早市福田町357-1	管理者名	高木 美和
電話番号	0957-35-4880	対象年度	令和 7 年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 諫早市 実施日程 令和6年4月1日～令和7年3月31日 実施した生産活動・施設外就労の概要 高齢者宅への配食 利用者数 等 全社員が従事 24名	<活動の様子> 活動の様子の写真  
<目的> 地域連携活動のねらい 食事を通して地域に役立てる 地域にとってのメリット 高齢者が、長らく地域での暮らしが出来る 対象者にとってのメリット 栄養改善が計られ、自立した生活が続けられる	成果物の写真  
<成果> 実施した結果 高齢者の安否確認ができています 得られた成果 健康状態が改善された方もおられ、自宅で生活が 続けられている 課題点 宅配であるため配達コストがかかる。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 栄養改善が必要で調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスの取れた食事を定期的に提供することで、生活機能低下予防、要介護状態の重度化の防止がはかられ、安否状況との確認もできるため、自立した生活支援が来ている。			
連携先企業名	諫早市役所	担当者名	諫早市こども福祉部 地域福祉課

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ブルースカイ	事業所番号	4210400406
住 所	長崎県諫早市福田町357-1	管理者名	高木 美和
電話番号	0957-35-4880	対象年度	令和 7 年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 ブルースカイ 食堂 実施日程 令和7年3月10日（月） 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 障害者就業・生活支援センターの役割と働き続けるために必要なこと 利用者数 等 全社員23名（欠席者は後日補講） <目的> 利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 就業・生活支援センターの役割となぜ働くのか、長く働くために必要なことをわかりやすく説明 利用者にとってのメリット 改めて働き続けるための基本（マナーやルール）を学び日ごとの業務に生かす <成果> 実施した結果 仕事の基本となることを再認識できた。 得られた成果 仕事に対する意欲向上を図ることができた。 課題点 一度の講義ですべてを実践することは難しいので、昼礼等で具体的な例を出しながら継続した支援を行う必要がある。	<活動の様子> 活動の様子の写真  成果物の写真  活動内容の追加コメント
--	---

連携先の企業や事業所等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価 円滑な業務遂行と良好な対人関係の維持に向けては、報・連・相の重要性について社員の皆さんが理解を深める機会となった。また、安心して長く働くためには、健康管理等の生活面の安定が不可欠であることを確認することができた。 今後の連携強化に向けた課題	連携先企業（担当者） 長崎障害者就業・生活支援センター 野口弘行
---	---

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価 就業・生活支援センターの役割を知ることができた。 仕事をするためには生活面を整えることも大切だと学べた。
--